

活 用 事 例	広島市立瀬野小学校	平本将司教諭
活用事例タイトル	学校ホームページを利活用した学習交流	
対象授業科目/活動	社会科・総合的な学習	
授業または活動の概要(目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など)	<p>目 的 他地域との交流を通し、教科書だけでは学べないことを知る。</p> <p>実施時期 適宜交流先校と調整して</p> <p>単 元 「平和学習交流」(総合的な学習) 「さまざまな自然とくらし」(社会科)</p> <p>学年 5・6年</p> <p>コンテンツ 「筑西市立竹島小学校との平和学習交流 (総合的な学習)」 http://midori-es.sakura.ne.jp/hp/htdocs/index.php?page_id=207 「与那国町立与那国小学校との学習交流 (社会科)」 http://midori-es.sakura.ne.jp/hp/htdocs/index.php?page_id=208 「新潟市立上所小学校との学習交流 (社会科)」 http://seno-es.sakura.ne.jp/hp/htdocs/?page_id=127</p>	
ICT 活用により期待できる効果 ICT 活用のねらい	<p>学習交流において、テレビ会議ではなく、学校ホームページを活用した。時間や環境に制限されることなく、ゆったりと時間をかけて記事を書かせたかったからである。また、個人ブログや一過性の取組ではないので、記事完成後は、児童の記事を保護者・地域・児童同士、その他にオフィシャルな形で好きな時間に閲覧してもらうことができる。</p>	
評価、振り返り(活動の評価や児童・生徒の声など)	<p>教科の枠にとらわれず、クロスオーバー的な学習を試みた。普段では会うことのできない地域の子どもたちとテキストベース(写真・アバター有)で交流できたことは子どもたちにとって大変貴重な体験となったようである。相手が見えることで、「伝わる」ことを意識して記事を書いていた。事後アンケートによれば、「やってよかった。」「楽しかった。」という声が多く寄せられている。記事を書く上で、自分の住んでいる地域について再度見直し・再発見をしていた。言葉を選び、メディアを選択し、相手の子どもたちに伝えようとする姿に21世紀型スキル的一端を感じている。</p>	